

# ぬけさく(道化芸)を求めて

チンドン屋、紙芝居、猿まわし、タンカバイとつづけてきました、日本の大道芸探訪プロジェクト。第5回目は今回は、大きく趣向を変え、「ぬけさくを求めて」と題し、金子さん師を迎え、道化芸を探ります。

金子さん師はこれまで何度か私たちの催しに登場し、奇想天外、抱腹絶倒のパフォーマンスを披露してくれています。テッカイ体にテッカイ顔、それに加えてむやみやたらとテッカイ声。それらを過剰に駆使しての身体表現に出会った人は、必ず、驚き、思考停止となり、やがて笑い転げます。よく言えば独創的、平たく言えばメチャクチャなそのパフォーマンスは、演芸ジャンルの枠を大きく逸脱した、名づけようのない「珍芸」で、毎回お客さん以上に主催者である私たちが腹の皮をよじらせ続けてきました。

このさん師の「珍芸」を「道化芸」と捕らえ、光を当ててくれたのは、2009年に行われた第5回国際フル祭でした。日本国内はもとより世界各国から選りすぐりのクラウン(道化師)が集い、その至芸を競ったこの催しに、無名の、クラウンですらないさん師が選抜されて出演し、内外の目の肥えた観客の度肝を抜いたのであります。私たち同様に、さん師の芸に驚き、笑い、何処に行けば彼の芸が見られるのかと、尋ねられたりもしましたが、さん師の舞台に触れる機会はとてまもなく、それは難しいだろうと答えるしかありませんでした。そこで今回は、そうしたご要望にこたえるべく、まるごと「金子さんの世界」に浸っていただくとうこの催しを企画いたしました。私たちは、さん師の演目のツナギに少しだけ登場し、諸芸を披露いたします。ほおずき市の二夜を、金子さん&浅草雑芸団とともに過ごしてください。

## 金子さん

1962年足立区生まれ。寅年。幼稚園のとき『大黒さま』や『大きなかぶ』の主演を演じる。顔が福福しかったと思われる。高校時代に演劇部に所属し、そのころから一人宴会芸?をいろいろ開発する。大学時代にアンガラ演劇をわずかにかじるが、なぜか三宅島に赴き、小学校の教員を5年ほど経験する。その後、児童劇団に所属しながら、全国を巡り、『絵解き』や『ごぜ唄』『紙芝居』などの芸能に出会い、感銘を受ける。現在、NPO職員であり、さんばらりん劇場を主宰している。

## レパートリー(一部)

ひとり歌舞伎、ひとり文楽、ひとり京劇、ひとり近松、山の音楽家、すもう解説、仏像解説、インドの観光ガイド、絵解き(新潟県某寺伝来の涅槃図)、ジャックと豆の木、誰も知らない人物ものまねシリーズ(×野高校数学・国語・英語等の先生、×倉千代子、×空ひばり)、紙芝居(くろがね童子、秘密の花園、西遊記、琵琶池、ポンチ)

## 浅草雑芸団

昭和60年、浅草奥山風景に際し、坂野比呂志の指導のもと、「大道芸」を実演。以後、坂野指導によって大道芸の研鑽に勤める。平成10年より、実演時の団体名として「浅草雑芸団」を名乗る。

## レパートリー(一部)

珍淨瑠璃「三勝半七」、びっくりアジカショー、見世物「くる首」、足人形「帰ってきたヨッパイ」、八木節手品、あめや踊り、もちつき踊り、まっくるけの主人、蛙の夜回り、キングコングがやってきた...

日時・2010年7月9日(金) 19:00開演(開場18:30)

会場・浅草木馬亭(台東区浅草2-7-5) ☎03-3844-6293  
都営浅草線・東京メトロ銀座線・東武線「浅草駅」徒歩10分  
つくばエクスプレス「浅草駅」徒歩5分

木戸銭・¥1,500(前売り・予約¥1,300) ※おみやげ付き

問合せ&予約・Tel&Fax 03-3388-4348(カミジマ)

※こちらは留守番電話での応答となりますのでご了承ください。

応援・ACC(アフター・クラウディ・カンパニー)/アフタフ・バーバン

